

第四期特定健康診査等実施計画

大垣共立銀行健康保険組合

最終更新日：令和6年03月14日

特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】			
No.1	特定健診の実施率は相応に高いが、要検査等の健診結果を放置しているケースが散見される。	➔	健診はゴールではなく、自分自身の身体を見つめなおし、日ごろの生活習慣を見直すスタートと位置付けて受診してもらうよう啓発していく。
No.2	特定保健指導も、相応の実施率であるが、結果については不問であったため、受け身の受診者が相応にいる。	➔	必ず、結果を出し、リピーターにならないよう啓発していく。
No.3	男女別で、医療費の高い疾病は違うが、全国比高い疾病について平均並みにしていく。	➔	がん対策推進企業アクションプログラムに参画しており、情報提供を積極的に行っていく。
No.4	後発医薬品については、子どもと若年層の使用割合が低い。	➔	後発医薬品の有効性を積極的にPRするとともに、自治体の実施する子ども医療費無料化政策によるコスト意識の欠如を改善していく。

基本的な考え方（任意）
-

特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名	特定健診（被保険者）	対応する健康課題番号	No.1																																																																														
↓																																																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th colspan="2">事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">方法</td> <td>特定健診を兼ねた人間ドック（健康保険組合の契約健診機関で実施）に対応する。 人間ドック受診を希望しなかった被保険者は、特定健診を兼ねた法定健診（事業主が契約健診機関で実施）に対応する。 受診状況により、未受診者に受診券を発行して集合契約先健診機関で受診する方法も活用する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">体制</td> <td>事業主に人間ドック受診予定者の情報を提供し、予定しない被保険者に対しては法定健診受診の徹底を依頼する。 健康保険組合の実施する人間ドックと事業主の実施する法定健診に対応する体制とする。 特定健診を兼ねている人間ドック受診予定者が期間内で受診できるようフォローしていく。</td> </tr> </tbody> </table>		事業の概要		対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者	方法	特定健診を兼ねた人間ドック（健康保険組合の契約健診機関で実施）に対応する。 人間ドック受診を希望しなかった被保険者は、特定健診を兼ねた法定健診（事業主が契約健診機関で実施）に対応する。 受診状況により、未受診者に受診券を発行して集合契約先健診機関で受診する方法も活用する。	体制	事業主に人間ドック受診予定者の情報を提供し、予定しない被保険者に対しては法定健診受診の徹底を依頼する。 健康保険組合の実施する人間ドックと事業主の実施する法定健診に対応する体制とする。 特定健診を兼ねている人間ドック受診予定者が期間内で受診できるようフォローしていく。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th colspan="7">事業目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="7">メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を的確に抽出するため、特定健診実施率の向上を目指す。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アウトカム指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者の内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>10.0%</td> <td>9.8%</td> <td>9.6%</td> <td>9.4%</td> <td>9.2%</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>被保険者の内臓脂肪症候群予備軍者割合</td> <td>10.0%</td> <td>9.8%</td> <td>9.6%</td> <td>9.4%</td> <td>9.2%</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>生活習慣リスク保有者率</td> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アウトプット指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者の特定健診実施率</td> <td>94.5%</td> <td>95.5%</td> <td>96.0%</td> <td>96.5%</td> <td>97.0%</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>特定健診実施率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		事業目標							メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を的確に抽出するため、特定健診実施率の向上を目指す。							アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	被保険者の内臓脂肪症候群該当者割合	10.0%	9.8%	9.6%	9.4%	9.2%	9.3%	被保険者の内臓脂肪症候群予備軍者割合	10.0%	9.8%	9.6%	9.4%	9.2%	9.0%	生活習慣リスク保有者率	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	内臓脂肪症候群該当者割合	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	被保険者の特定健診実施率	94.5%	95.5%	96.0%	96.5%	97.0%	98.0%	特定健診実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
事業の概要																																																																																	
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者																																																																																
方法	特定健診を兼ねた人間ドック（健康保険組合の契約健診機関で実施）に対応する。 人間ドック受診を希望しなかった被保険者は、特定健診を兼ねた法定健診（事業主が契約健診機関で実施）に対応する。 受診状況により、未受診者に受診券を発行して集合契約先健診機関で受診する方法も活用する。																																																																																
体制	事業主に人間ドック受診予定者の情報を提供し、予定しない被保険者に対しては法定健診受診の徹底を依頼する。 健康保険組合の実施する人間ドックと事業主の実施する法定健診に対応する体制とする。 特定健診を兼ねている人間ドック受診予定者が期間内で受診できるようフォローしていく。																																																																																
事業目標																																																																																	
メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を的確に抽出するため、特定健診実施率の向上を目指す。																																																																																	
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																																																											
被保険者の内臓脂肪症候群該当者割合	10.0%	9.8%	9.6%	9.4%	9.2%	9.3%																																																																											
被保険者の内臓脂肪症候群予備軍者割合	10.0%	9.8%	9.6%	9.4%	9.2%	9.0%																																																																											
生活習慣リスク保有者率	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%																																																																											
内臓脂肪症候群該当者割合	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%																																																																											
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																																																											
被保険者の特定健診実施率	94.5%	95.5%	96.0%	96.5%	97.0%	98.0%																																																																											
特定健診実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%																																																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th colspan="3">実施計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;">R6年度</td> <td style="width: 33%;">R7年度</td> <td style="width: 33%;">R8年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。</td> <td>被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。</td> <td>被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。</td> </tr> <tr> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。</td> <td>被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。</td> <td>被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。</td> </tr> </tbody> </table>				実施計画			R6年度	R7年度	R8年度	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	R9年度	R10年度	R11年度	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。																																																															
実施計画																																																																																	
R6年度	R7年度	R8年度																																																																															
被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。																																																																															
R9年度	R10年度	R11年度																																																																															
被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。	被保険者については、人間ドックを中心に実施率100%を目指す。																																																																															

2 事業名 特定健診（被扶養者）

対応する健康課題番号 No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者
方法	被扶養配偶者は特定健診を兼ねた人間ドック（健康保険組合の契約健診機関で実施）で対応する。 人間ドック受診を希望しなかった被扶養配偶者及び配偶者以外の被扶養者には、受診券を発行して集合契約先健診機関で受診する。
体制	健康保険組合の実施する人間ドックと受診券による集合契約先健診機関での特定健診に対応する体制とする。 特定健診を兼ねている人間ドック受診予定者が期間内で受診できるようフォローしていく。

事業目標

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着眼し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を的確に抽出するため、特定健診実施率の向上を目指す。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
被扶養者の内臓脂肪症候群該当者割合	1.2%	1.2%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%
被扶養者の内臓脂肪症候群予備軍者割合	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%
生活習慣リスク保有者率	1.6%	1.4%	1.4%	1.2%	1.2%	1.1%
内臓脂肪症候群該当者割合	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
被扶養者の特定健診実施率	80.3%	82.3%	84.3%	86.3%	87.3%	88.3%
健診受診案内と受診券送付率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
特定健診実施率	65%	70%	75%	75%	80%	80%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
受診券による受診を促すなど、長期未受診対策を徹底する。	受診券による受診を促すなど、長期未受診対策を徹底する。	受診券による受診を促すなど、長期未受診対策を徹底する。
R9年度	R10年度	R11年度
受診券による受診を促すなど、長期未受診対策を徹底する。	受診券による受診を促すなど、長期未受診対策を徹底する。	受診券による受診を促すなど、長期未受診対策を徹底する。

3 事業名 特定保健指導

対応する健康課題番号 No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	特定健診を兼ねた人間ドック受診日当日に指導可能な健診機関で特定保健指導を実施する。 それ以外の特定保健指導対象者には受診動奨とアンケートを実施し、外部委託業者により保健指導を実施する。 特定保健指導実施者の実施状況を健診機関・外部委託業者とも連携して確認し、途中脱退がないよう必要なフォローを実施する。
体制	特定健診を兼ねた人間ドック受診日当日に指導可能な健診機関と外部委託業者で実施する。 対象者の途中脱退がないよう健診機関・外部委託業者と連携していく。 就業時間内での実施や面談可能な場所の提供等について事業主にも配慮して頂く。

事業目標

特定保健指導対象者が、指導を受けることで食生活や運動といった生活習慣における課題を認識し行動変容と自己管理を行うことで、服薬に移行することなく健康的な生活を維持できるようにする。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
動機づけ支援対象者の減少率	2%	4%	6%	8%	12%	16%
積極的支援対象者の減少率	2%	4%	6%	8%	12%	16%
特定保健指導対象者割合	28%	28%	26%	26%	24%	24%
腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合	15%	20%	25%	30%	35%	40%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定保健指導実施率（終了者の割合）	70%	72%	74%	76%	78%	80%
特定保健指導実施率	90%	93%	95%	95%	95%	95%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
受け身ではなく、特定保家指導を能動的にとらえて、結果を出す。	受け身ではなく、特定保家指導を能動的にとらえて、結果を出す。	受け身ではなく、特定保家指導を能動的にとらえて、結果を出す。
R9年度	R10年度	R11年度
受け身ではなく、特定保家指導を能動的にとらえて、結果を出す。	受け身ではなく、特定保家指導を能動的にとらえて、結果を出す。	受け身ではなく、特定保家指導を能動的にとらえて、結果を出す。

4 事業名 特定保健指導等被用者保険円滑化推進事業

対応する健康課題番号 No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	健保連岐阜連合会との共同事業として、岐阜連合会指定の外部委託業者を利用した特定保健指導を実施する。 費用の一部は岐阜連合会の助成を受ける。 特定健診を兼ねる人間ドック健診機関での特定保健指導が実施できなかった対象者に受診勧奨とアンケートを実施して参加募集するが、割当人数に制限がありその範囲内で実施する。 特定保健指導実施者の実施状況を外部委託業者とも連携して確認し、途中脱退がないよう必要なフォローを実施する。
体制	健保連岐阜連合会との共同事業として岐阜連合会指定の外部委託業者が実施する。 対象者の途中脱退がないよう外部委託業者と連携していく。 就業時間内での実施や面談可能な場所の提供等について事業主にも配慮して頂く。

事業目標

特定保健指導対象者が意欲的に特定保健指導を受けることで食生活や運動といった生活習慣を改善し、服薬に移行することなく、次年度以降特定保健指導対象外となることで、生活習慣病リスクを低減する。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
動機づけ支援対象者減少率	7%	9%	13%	15%	18%	20%
積極的支援対象者減少率	7%	9%	13%	15%	18%	20%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
保健指導実施者のうちの脱落者数	2人	2人	2人	2人	2人	2人

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
特定保健指導対象者とならない、リスク保有者、及び40歳未満の予備軍層に対し、保健師による保健指導により、気づきと生活習慣見直しのきっかけ、または、早期の医療機関へのつなぎなどを行う。	特定保健指導対象者とならない、リスク保有者、及び40歳未満の予備軍層に対し、保健師による保健指導により、気づきと生活習慣見直しのきっかけ、または、早期の医療機関へのつなぎなどを行う。	特定保健指導対象者とならない、リスク保有者、及び40歳未満の予備軍層に対し、保健師による保健指導により、気づきと生活習慣見直しのきっかけ、または、早期の医療機関へのつなぎなどを行う。
R9年度	R10年度	R11年度
特定保健指導対象者とならない、リスク保有者、及び40歳未満の予備軍層に対し、保健師による保健指導により、気づきと生活習慣見直しのきっかけ、または、早期の医療機関へのつなぎなどを行う。	特定保健指導対象者とならない、リスク保有者、及び40歳未満の予備軍層に対し、保健師による保健指導により、気づきと生活習慣見直しのきっかけ、または、早期の医療機関へのつなぎなどを行う。	特定保健指導対象者とならない、リスク保有者、及び40歳未満の予備軍層に対し、保健師による保健指導により、気づきと生活習慣見直しのきっかけ、または、早期の医療機関へのつなぎなどを行う。

5 事業名 人間ドックによる「要受診」・「要検査」所見の受診者に対する受診勧奨

対応する健康課題番号 No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：30～74、対象者分類：基準該当者
方法	人間ドック受診結果が「要精検」・「要治療」となった方を対象として一定期間経過後に受診勧奨と受診状況に係るアンケートを実施するが、受診結果までは求めない。 事前に健診結果を受けた後の対応について啓蒙する。 アンケート未回答者へは一定期間経過後に再アンケートを実施する。 アンケート結果が「受診予定」とした者には受診予定月経過後に再アンケートを実施する。
体制	健康保険組合が健診機関からの受診結果より対象者を特定し、受診勧奨とアンケートを実施する。

事業目標

疾病の早期発見と早期治療により重症化を予防・抑制する。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
受診率	60%	65%	70%	75%	80%	85%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
受診状況アンケートの回収率	85%	88%	90%	93%	94%	95%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
人間ドック等健診がゴールではないことを徹底し、放置による病気の発症を防ぐべく、受診勧奨とレセプトによる事後フォローを徹底する。	人間ドック等健診がゴールではないことを徹底し、放置による病気の発症を防ぐべく、受診勧奨とレセプトによる事後フォローを徹底する。	人間ドック等健診がゴールではないことを徹底し、放置による病気の発症を防ぐべく、受診勧奨とレセプトによる事後フォローを徹底する。
R9年度	R10年度	R11年度
人間ドック等健診がゴールではないことを徹底し、放置による病気の発症を防ぐべく、受診勧奨とレセプトによる事後フォローを徹底する。	人間ドック等健診がゴールではないことを徹底し、放置による病気の発症を防ぐべく、受診勧奨とレセプトによる事後フォローを徹底する。	人間ドック等健診がゴールではないことを徹底し、放置による病気の発症を防ぐべく、受診勧奨とレセプトによる事後フォローを徹底する。

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	3,080 / 3,216 = 95.8 %	3,030 / 3,150 = 96.2 %	3,029 / 3,145 = 96.3 %	3,012 / 3,125 = 96.4 %	3,016 / 3,125 = 96.5 %	3,012 / 3,115 = 96.7 %
		被保険者	2,400 / 2,442 = 98.3 %	2,360 / 2,400 = 98.3 %	2,362 / 2,400 = 98.4 %	2,350 / 2,385 = 98.5 %	2,350 / 2,385 = 98.5 %	2,348 / 2,380 = 98.7 %
		被扶養者 ※3	680 / 774 = 87.9 %	670 / 750 = 89.3 %	667 / 745 = 89.5 %	662 / 740 = 89.5 %	666 / 740 = 90.0 %	664 / 735 = 90.3 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	345 / 3,080 = 11.2 %	334 / 3,030 = 11.0 %	332 / 3,029 = 11.0 %	326 / 3,012 = 10.8 %	322 / 3,016 = 10.7 %	- / - = - %
		動機付け支援	185 / 3,080 = 6.0 %	179 / 3,030 = 5.9 %	175 / 3,029 = 5.8 %	175 / 3,012 = 5.8 %	173 / 3,016 = 5.7 %	170 / 3,012 = 5.6 %
		積極的支援	160 / 3,080 = 5.2 %	155 / 3,030 = 5.1 %	153 / 3,029 = 5.1 %	151 / 3,012 = 5.0 %	149 / 3,016 = 4.9 %	145 / 3,012 = 4.8 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）
-

特定健康診査等の実施方法（任意）
-

個人情報の保護
-

特定健康診査等実施計画の公表・周知
-

その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）
-